

Ver.21H1 : Windows 10 May 2021 Update  
 Ver.20H2 : Windows 10 October 2020 Update  
 Ver.2004 : Windows 10 May 2020 Update  
 Ver.1909 : Windows 10 November 2019 Update  
 Ver.1903 : Windows 10 May 2019 Update

○ : 対応済み  
 △ : 一部機能のみ動作可能  
 × : 動作確認中 または 未対応  
 \* : 未対応

\* 本表の注は、法的な保証がなされず、  
 \* 動作確認が完了し、検証完了の更新を要します。  
 \* 注意事項は対応しない場合も含みます。

製品名	実行バージョン	OSバージョン		対応予定バージョン	対応情報 / 備考
		Ver.20H2	Ver.21H1		
QND Standard	Ver.11.0.5(*)	△	△		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows 10 20H2/2005(バージョン4) (2009) と表示されます ・ Windows 10 21H1/2005(バージョン4) (2009) と表示されます ・ アプリケーション上で、Windows Sandboxの起動を停止できません ・ Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10 の更新制御」による設定の変更ができません <b>【注釈事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です ・ Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対するサポートはできません ・ Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が済んだため、ソリューション利用時に次の注意事項があります ・ 「アプデ手動レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ・ Ver.10.0でも同様
	Ver.3.9	○	○		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です ・ コバート実行中にリフレックスPCを利用したホスト条件の変更スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります 開発発生時はタスクマネージャからSPMコンソールを終了し、再度コンソールを起動するようお願いいたします
	Ver.1.2 SP12	○	×		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です
QND Advance	Ver.11.0.5(*)	△	△		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows 10 20H2/2005(バージョン4) (2009) と表示されます ・ Windows 10 21H1/2005(バージョン4) (2009) と表示されます ・ 外部メディア接続機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません ・ アプリケーション上で、Windows Sandboxの起動を停止できません ・ Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10 の更新制御」による設定の変更ができません <b>【注釈事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です ・ Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対するサポートはできません ・ Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が済んだため、ソリューション利用時に次の注意事項があります ・ 「アプデ手動レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ・ Ver.10.0でも同様
	Ver.3.9	○	○		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です ・ コバート実行中にリフレックスPCを利用したホスト条件の変更スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります 開発発生時はタスクマネージャからSPMコンソールを終了し、再度コンソールを起動するようお願いいたします
	Ver.1.2 SP12	○	×		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です
	Ver.5.2	○	○		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows Sandboxのブラウザおよびアプリの連携は制限されます
	Ver.5.2	○	○		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です ・ Windows Sandboxのブラウザおよびアプリの連携は制限されます
	Ver.2.6.11.11 (*1)(*2)	○	○		<b># Ver.1903/1909/2004/20H2/21H1</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.7以下での動作が発生します ・ 2002年以前のフォルダが、システムファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する
QND Premium	Ver.11.0.5(*)	△	△		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows 10 20H2/2005(バージョン4) (2009) と表示されます ・ Windows 10 21H1/2005(バージョン4) (2009) と表示されます ・ 外部メディア接続機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません ・ アプリケーション上で、Windows Sandboxの起動を停止できません ・ Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10 の更新制御」による設定の変更ができません <b>【注釈事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です ・ Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対するサポートはできません ・ Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が済んだため、ソリューション利用時に次の注意事項があります ・ 「アプデ手動レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ・ Ver.10.0でも同様
	Ver.3.9	○	○		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です ・ コバート実行中にリフレックスPCを利用したホスト条件の変更スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります 開発発生時はタスクマネージャからSPMコンソールを終了し、再度コンソールを起動するようお願いいたします
	Ver.1.2 SP12	○	×		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です
	Ver.5.2	○	○		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です ・ Windows Sandboxのブラウザおよびアプリの連携は制限されます
	Ver.2.6.11.11 (*1)(*2)	○	○		<b># Ver.1903/1909/2004/20H2/21H1</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.7以下での動作が発生します ・ 2002年以前のフォルダが、システムファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する
	Ver.2.6.11.11 (*1)(*2)	○	○		<b># Ver.1903/1909/2004/20H2/21H1</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.7以下での動作が発生します ・ 2002年以前のフォルダが、システムファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する
ISM CloudOne	Ver.6.8.9	○	○		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows 10 v20H2(ハードウェアイベント)を無効すると、「Windows 10(バージョン)」の値は「2009」と表示されます。6.8.9で対応予定。 ・ Windows 10 v21H1(ハードウェアイベント)を無効すると、「Windows 10(バージョン)」の値は空白で表示されます。6.8.9で対応予定。 ・ Windows 10 v2004以降の場合、ハードウェアイベントの「Windows Update情報」にある「更新方法」が異なる場合があります ・ システムポリシー「[コネクティブの構成]」(管理用テンプレート) - 「Windowsコンネクト」 - 「Windows Update」で、「自動更新を構成する」を「有効」にし、「7 - 自動更新モード」を「インストール」に選択し、再起動を通知し、選択している場合に本更新を強制 <b>【注釈事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です ・ Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対するサポートはできません ・ Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が済んだため、Windows 10 Update設定時に次の注意事項があります a. Windows 10 Update設定で、「更新をインストールする」(SACT)を選択してもクライアントに反映されません b. ハードウェアイベントの「Windows 10 更新モード」が「ISAC」になります
	Ver.6.8.9	○	○		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ 外部メディア接続機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません
	Ver.6.8.9	○	○		
	Ver.3.4.3	○	○		
	62_10_9575	○*	×		* 対応状況についてはサービス担当者もしくは販売店までお問い合わせください
	Ver.5.2	○	○		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です ・ Windows Sandboxのブラウザおよびアプリの連携は制限されます
KeyServer	Ver.7.6	○	△		<b># Ver.1903以降</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows 10 20H2/21H1/2005(バージョン4) (2009) と表示されます ・ Windows 10 2004/21H1/2005(バージョン4) (2009) と表示されます ・ Windows Sandboxにインストールした場合は動作保証外です
	Ver.4.4 SP5	△	×		<b># Ver.1903/1909/2004</b> <b>【注意事項】</b> ・ RPIモード、またはRPIモードの場合、Windows Sandboxは起動しません <b># Ver.20H2</b> ・ Windows 10 20H2へのバージョンアップに失敗する場合があります <b># Ver.21H1</b> 動作確認中
QR	Ver.1.4	○	×	未定	<b># Ver.21H1</b> 動作確認中
Quality Gaaho PDF Suite	Ver.5.3	△	×		<b># Ver.1903/1909/2004/2009/20H2</b> <b>【注意事項】</b> ・ Windows 10 1903以降においてGaaho PDF Suiteにインストール時、PDFユーティリティがGaaho Docに変更しても、設定が変更されません <b># Ver.21H1</b> 動作確認中

製品名	実行バージョン	macOS (10.15)	macOS (11)	対応予定バージョン	対応情報・備考
		対応状況	対応状況		
QND Premium/Advance/Standard	Ver.11.0.5	△	△	未定	<p><b>【制限事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 特定の構成が利用できません。</li> <li>・ macOS 10.13.4より、Adobe製品情報収集プラグイン(AdobeInfo)、フォント情報収集プラグイン(FontSizeCollector)のインストールを行った際にクライアントにて書き込みが正常に行われず、インストールが完了しない場合があります。</li> <li>・ 本製品を正常に動作させるには、Webページ(<a href="https://support.apple.com/ja-jp/7028436">https://support.apple.com/ja-jp/7028436</a>)を参照してください。</li> <li>・ リモートコントロールを利用できません。</li> <li>・ 以下のインストールプラグインを利用できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Adobe製品インストール(AdobeInfo)</li> <li>・ フォントインストール(FontSizeCollector)</li> </ul> </li> <li>・ コアユーティリティ(CoreUtilities)は、UTF-16LEに設定していません。予備インストール(TestEst_app)を併用してsystempreferenceにて"Text encoding"(UTF-16LE)に設定してQND.logを参照してください。</li> <li>・ sandboxタイプのアプリケーションは、SUを利用して起動できません。sandboxタイプのアプリケーションのインストール方法は、ActivityMonitor.appのメニュー(Free) -&gt; (Utilities) -&gt; (Sandbox)を参照してください。ActivityMonitor.appのメニュー(Sandbox)の所に、sandboxタイプのアプリケーションは「Yes」、非sandboxタイプのアプリは「No」が表示されます。</li> <li>・ ソフトウェア更新の設定として「タスク」 - 「更新」 - 「ファイル転送」で設定する(配布するソフトウェアのロイヤリティ)で「既定ファイルが配布ソフトウェアに二重の署名を施す(おなじみではない)」を有効にする。既定ファイルのロイヤリティを有効にする。既定ファイルのロイヤリティを有効にします。</li> <li>・ ソフトウェア更新の設定として「タスク」 - 「更新」 - 「ファイル転送」で設定する(配布するソフトウェアのロイヤリティ)で「既定ファイルのロイヤリティを有効にする(おなじみではない)」を有効にする。既定ファイルのロイヤリティを有効にする。既定ファイルのロイヤリティを有効にします。</li> <li>・ 「セキュリティとプライバシー」 - 「プライバシー」で「QND」に付するフルディスクアクセス権限のチェックを有効にする必要があります。</li> <li>・ Apple M1 CPUでは、インストールのCPUスピード、CPU外部クロックは、正確な値を収集できません。</li> </ul>
QND ClientLog	Ver.2.6.11.11	○	×	未定	<p><b>【制限事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 画像収録設定(*)でQND ClientLogクライアントを許可する必要があります。</li> <li>・ (*)画像収録で許可する手順 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既定で他のアプリケーションを有効にする</li> <li>2. OS標準の「システム情報」アプリの「セキュリティとプライバシー」 - 「画像収録」からQND ClientLogクライアントを許可する</li> </ol> </li> <li>・ macOS 11では一部のログが正しく取得できない、ログイン時にエラーが記録される等、正常に動作しません。</li> </ul>
ISM CloudOne	Ver.6.8.9	△	×	2021年現在	<p><b>【制限事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ISMクライアントのインストール前に、ファイルへのアクセスを許可する必要があります。</li> <li>・ Ver.6.8.9以前のISMクライアントをインストールした状態でmacOS 10.14.0からmacOS 10.15.0にアップデートすると、ISMクライアントが動作しません。</li> <li>・ ISMクライアントの動作を許可しない場合、アップデートメッセージは通知されません。</li> <li>・ 画像収録設定(*)でISMクライアントを許可していない場合、画像収録時の起動時にエラーメッセージが表示され、インストールが完了しません。</li> <li>・ 既定で他のアプリケーションを有効にする</li> <li>・ (*)画像収録で許可する手順 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既定で他のアプリケーションを有効にする</li> <li>2. OS標準の「システム情報」アプリの「セキュリティとプライバシー」 - 「画像収録」からISMクライアントを許可する</li> </ol> </li> <li>・ macOS 10.14にISMクライアント(64bit)をインストールした状態でmacOS 10.15にバージョンアップすると、外部デバイス駆動のポートが正常に動作しない場合があります。</li> <li>・ macOS 10.15にISMクライアントをインストールした場合は正常に動作します。</li> <li>・ macOS 11では外部デバイス駆動、接続のログが取得できず、正常に動作しません。</li> </ul>
KeyServer	Ver.7.6	○	△	未定	<p><b>【制限事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ KeyServer Ver.7.6 更新プログラム(2020年)適用により対応します。</li> <li>・ KeyServer Ver.7.6 更新プログラム(2020年)手動適用の場合、macOS標準のGatekeeperが、Apple社サーバーアクセスできる場合のみ対応済みとして動作します。</li> <li>・ macOS 11では、以下の制限があります。</li> <li>・ OSインストールが、おなじみではない場合があります。</li> <li>・ Apple M1 CPUの場合でもCPUタイプにIntel CPUが表示されます。</li> </ul>

製品名	実行バージョン	iOS 14			対応情報・備考
		対応状況	対応予定バージョン		
ISM CloudOne	Ver.6.8.9	△		未定	<p><b>【注意事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Android系アプリはiOS 11.0以降に非対応</li> </ul> <p><b>【制限事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監視モード(*)に切り替えたい場合、ポリシー構成プロファイルで制限ができない場合があります。</li> <li>・ (*) Apple Configuration 2) でOS標準を「監視モード」に切り替えることで監視モードが可能です。ただし、iOS標準モードで設定が必要です。</li> <li>・ 既定アプリ、プライバシー - 位置情報、でiOSクライアントプログラムの位置情報権限を「常に許可」及び「正確な位置情報」を有効にしなければ、位置情報を取得できません。</li> <li>・ 個人データ取得権限メッセージが正常に表示されない場合があります。</li> <li>・ ISMサーバーで自己署名の証明書を使用している場合、MDM構成プロファイルをインストールできません。</li> </ul> <p>以下の機能は動作不可です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ iOSクライアントの初期設定</li> <li>・ イベントリソース</li> <li>・ 位置情報権限</li> <li>・ 通知許可ポリシーの管理</li> <li>・ 各種ソフトウェアのインストール</li> <li>・ パスコード解除</li> <li>・ リモートロック</li> <li>・ リモートワイフ</li> <li>・ ソフトウェア更新</li> <li>・ 既定ソフトウェア設定</li> <li>・ アプリケーションポータル</li> <li>・ MDM構成プロファイル解除通知</li> </ul>

製品名	実行バージョン	iPadOS 14			対応情報・備考
		対応状況	対応予定バージョン		
ISM CloudOne	Ver.6.8.9	△		未定	<p><b>【注意事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監視モード(*)に切り替えたい場合、ポリシー構成プロファイルで制限ができない場合があります。</li> <li>・ (*) Apple Configuration 2) でOS標準を「監視モード」に切り替えることで監視モードが可能です。ただし、iOS標準モードで設定が必要です。</li> <li>・ 既定アプリ、プライバシー - 位置情報、でiOSクライアントプログラムの位置情報権限を「常に許可」及び「正確な位置情報」を有効にしなければ、位置情報を取得できません。</li> <li>・ 個人データ取得権限メッセージが正常に表示されない場合があります。</li> <li>・ ISMサーバーで自己署名の証明書を使用している場合、MDM構成プロファイルをインストールできません。</li> </ul> <p>以下の機能は動作不可です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ iOSクライアントの初期設定</li> <li>・ イベントリソース</li> <li>・ 位置情報権限</li> <li>・ 通知許可ポリシーの管理</li> <li>・ 各種ソフトウェアのインストール</li> <li>・ パスコード解除</li> <li>・ リモートロック</li> <li>・ リモートワイフ</li> <li>・ ソフトウェア更新</li> <li>・ 既定ソフトウェア設定</li> <li>・ アプリケーションポータル</li> <li>・ MDM構成プロファイル解除通知</li> </ul>

△ : 対応済み  
 ○ : 一部機能のみで動作可能  
 × : 動作確認中 または 未対応  
 : 非対応

・ 未定部分は、決定次第お知らせいたします。  
 ・ 動作確認中のものは、確認終了次第情報更新いたします。  
 ・ 位置情報はおなじみではない場合があります。